



東海村

議会だより

第39号

2020.1



目次

12月定例会

森林を守り、整備する森林環境整備基金設立 P 2

議会トピックス

台風災害復旧に 3,540 万円 / 東海村議会議員会が義援金を被災4町へ... P 3

賛否の分かれた議案、討論 P 4

村政を問う！〔一般質問〕 P 5～13

3月定例会日程（予定）/ 議会の豆知識 P13～14

12月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



令和元年第4回定例会（12月議会）は、11月28日に開会し、12月17日までの会期で開催しました。

一般質問は、6日から10日の3日間で15人の議員が質問を行い、11日からの予算決算委員会では、一般会計・特別会計それぞれの補正予算を審査しました。

17日の議案審議では、森林環境整備基金の設置・管理及び処分に関する条例の制定、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定、リサイクルプラザとうかいに関する条例の廃止、中央地区の基盤整備工事、監査委員の選任など、村長提出の議案15件すべてを可決・同意しました。

森林を守り、整備する 森林環境整備基金設立



▲村松晴嵐の碑の黒松（平成25年頃）



▲マツクイ虫の被害を受けた松林（平成31年3月頃）

森林環境譲与税とは

パリ協定における温室効果ガス排出削減、災害防止を図る森林整備の財源を安定的に確保する観点から、森林現場の課題に対応することを目的に、森林環境譲与税が創設されました。

森林環境税とは

令和6年4月より1人年額1,000円を市町村が賦課徴収する予定です。

村では、森林環境譲与税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、財源を適正に管理するために基金を創設しました。今後、森林整備及び利用促進のための調査費用に充てられます。

新たな 事業

①村松晴嵐の碑及び八間道路に黒松を計画的に5年かけて植樹

②森林経営管理制度意向調査の実施

譲与基準

※総額の8割に相当する額を

- ①私有林人口面積
- ②林業就業者数
- ③人口で按分

台風災害復旧に3,540万円

台風 19 号では、久慈川や新川の溢水が懸念され、流域の住民に避難指示が出されました。幸い宅地への流入はありませんでしたが、久慈川河川敷運動場は**石神外宿グラウンド（ソフトボール場）・石神内宿グラウンド（サッカー場）**ともに全面が浸水し、サッカーゴールが流される等の甚大な被害を受けたことから、現在は利用を休止しています。

復旧・利用再開に向けた **補正予算 3,540 万円** を全会一致で可決しました。



東海村議会議員会が義援金を被災4町へ

台風 19 号により被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

村議会議員会では、11 月 8 日に義援金 40 万円をそれぞれ 10 万円ずつ、被災した大子町・城里町・茨城町・大洗町に届けました。

議員一同、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



▲茨城町長に義援金を手渡す議員会長と副会長

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい											みすずの会			公明党		無会派		結果			
	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舩井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	新垣麻依子	江田 五六	恵利 いつ	清宮 寿子	阿部 功志	岡崎 悟	植木 伸寿		大名美恵子	村上 孝	
議案第 75 号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決	
議案第 77 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第 83 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決

○…賛成

×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第 75 号	東海村森林環境整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について 森林環境税及び森林環境譲与税の法律施行に伴い、村が実施する森林整備等に要する基金の創設に伴う条例の制定
議案第 77 号	令和元年度東海村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 保険料納付金額の増額を主な内容として、必要な予算措置をするもの
議案第 83 号	東海村職員の給与に関する条例及び東海村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に伴い、一般職及び特別職の期末手当の引上げを行うための条例の一部改正

反対

保険料5割軽減措置が、加入から2年間のみに短縮されたことによる収入が含まれる補正増予算は容認できない。全ての軽減措置が廃止の方向で、値上げの傾向に歯止めがかからない。

無会派 大名 美恵子 議員

議案第77号
令和元年度東海村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

反対

国は、森林整備を重要課題と位置付け、林業予算を大幅に増やすことこそ必要。国民への増税で行うことではない。村にはすでに緑化基金が設置されており、活用目的を拡大するなどの改定で活用は可能。

無会派 大名 美恵子 議員

議案第75号
東海村森林環境整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

討

論

討論とは… 自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

本会議のようす



植木 伸寿 議員 P.6

- 1 新総合計画の進捗状況は
- 2 詐欺や消費者トラブル防止への取り組みは
- 3 短時間大雨等の対策
- 4 公共施設エアコン設置への取り組みは

飛田 静幸 議員 P.6

- 1 いきいき茨城ゆめ国体について
- 2 高齢化に伴う集積所へのごみ出し
- 3 役場来客用の駐車場について
- 4 雑誌に掲載された村長発言を巡る一連の報道

阿部 功志 議員 P.7

- 1 東電が原電を支援することへの村長の見解は
- 2 村長や村職員は「原発マネー」に関わる金品の授受、飲み食いはあるのか
- 3 雑誌の対談で村長は原発再稼働推進を明言しているが
- 4 災害対策として避難所に「仕切り」を常備しては
- 5 東海病院が全国の病院再編統合のリストに載ったが、村の見解は
- 6 マイナンバーカードを公務員に半ば強制的に作らせる動きへの対応は

吉田 充宏 議員 P.7

- 1 大規模自然災害について
- 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 3 子育て支援について
- 4 除染土壌・除染廃棄物の今後について

舛井 文夫 議員 P.8

- 1 令和2年度予算編成について
- 2 第6次総合計画の策定状況
- 3 台風19号被害自治体に対する応援は
- 4 租税債権の確保
- 5 台風の風水害対策

村上 孝 議員 P.8

- 1 石神城址公園へのアクセス道路の整備と管理のあり方
- 2 常磐高速道路へのアクセスを高めるための更なる東海SICの充実を
- 3 久慈川の治水対策とその後の新川の河川管理等の協議状況

恵利 いつ 議員 P.9

- 1 姉妹都市交流事業におけるボランティアと役場の関係
- 2 自治会への交付金支給に対する基本的な考え
- 3 インフルエンザ予防注射費用の助成拡大
- 4 多くの住民の信頼を失い失望させた原子力業界誌対談(山田・品田対談)

寺門 定範 議員 P.9

- 1 河川敷グラウンドの復旧について
- 2 村立保育所、幼稚園などの再編整備
- 3 耕作放棄地対策、小規模水利組合等の支援
- 4 農業公社の検討状況

岡崎 悟 議員 P.10

- 1 フレイル健診について
- 2 東海村道路反射鏡設置要綱について
- 3 プロジェクターのコミセン常備品化
- 4 AEDの設置について

武部 慎一 議員 P.10

- 1 自然災害ハザードマップと地質DBから見えるもの/地域の潜在的なリスク
- 2 自然災害から身を守るために/命を守るための最善の行動とは
- 3 自然災害における災害廃棄物の最終処分/最終処分場埋設余裕度を考えた計画が必要では
- 4 インフラ総合管理計画の進捗状況/個別の施設情報DBとインフラ総合管理計画
- 5 いじめの無い学校教育/いじめを防止すべき教員がいじめをする

清宮 寿子 議員 P.11

- 1 防潮堤工事作業員宿舍建設のための舟石川の山林伐採
- 2 村長の「段階的避難」の真意は
- 3 戦後74年経過した今、遺族会と村との関わり方は

笹嶋 士郎 議員 P.11

- 1 東海病院指定管理と厚生労働省病院再編
- 2 台風19号の風水害避難体制とその後の検証
- 3 学童保育の現状と対策
- 4 新規職員採用について

大名 美恵子 議員 P.12

- 1 村立東海病院の統廃合案への対応
- 2 村立学童クラブの充実
- 3 敬老祝い品の見直し及び東海村敬老会の復活
- 4 常設型資源ステーション設置のための課題
- 5 学校の教職員集団の質を高める取り組み
- 6 台風19号発生時の避難所開設
- 7 刈羽村長との対談に関連して

越智 辰哉 議員 P.12

- 1 交流館建設に向けた取り組み
- 2 住民参画のまちづくり
- 3 「30年後の東海村の姿」タイムカプセルの発掘
- 4 大雨・豪雨に対する土砂災害への対応
- 5 東海駅東口周辺環境改善

江田 五六 議員 P.13

- 1 第6次総合計画について
- 2 生活支援基本計画が必要
- 3 畑作農家への新たな支援
- 4 東海村スポーツ推進計画の現状
- 5 コミセンの利用方法
- 6 外宿浄水場について
- 7 防犯カメラ設置について
- 8 自治会要望について
- 9 暴風雨対策について
- 10 マイクロプラスチックについて
- 11 (仮称)歴史と未来の交流館について
- 12 アクティビティパークの実現

問 施設エアコン設置への 取り組みは

答 コミセン多目的室の整備を考える



公明党
うえき しんじ 議員
植木 伸寿

問 本年、村内幼稚園・小中学校にエアコンが設置され、教育環境改善の整備が進んだ。基幹避難所として活用が想定されるコミセン多目的ホールや、学校の体育館などもエアコン設置が必要ではないか。考えを伺う。

答 学校体育館の利用に関しては、環境省が示している「熱中症予防運動指針」を基に判断しており、各学校の体育館に熱中症の危険度がかかる温湿度計の設置や十分な換気を行うなど対応し、危険と判断したときは体



東海中学校エアコン設置の様子

育の授業を中止するなどの措置をとっている。コミセンは、地域防災計画等に基づき、災害発生のおそれがある場合などに開設する基幹避難所に指定されている。近年、頻発している自然災害等に対し、基幹避難所としての良好な環境づくりを進め、さらには熱中症などの暑さ対策、通常利用における施設環境向上の観点から、エアコンが未設置のコミセン多目的ホールについては、設置に向けた整備計画を考える。

問 役場来客用駐車場が 根本的に不足

答 駐車場不足の解消に向け整備する



新政とうかい
とび た しずゆき 議員
飛田 静幸

問 平成29年12月定例会において、役場の来客用駐車場不足の問題について質問をしたが、未だ問題解決に至っていないのが現状である。そもそも駐車スペース128台分では足りないと考え、現在の検討状況も含め見解を伺う。

答 来客用駐車場は、現在のレイアウト及び動線の見直しを行うことにより、新たに約45台増の駐車スペースを確保することが出来ることから、今後整備年次を定めたうえで、来客用駐車場不足の解消に

向け整備していく。
問 屋根付きの優先駐車場を整備するなどし、高齢の方や身体に障がいのある方が安全に利用できるよう、配慮が必要と考えるが見解を伺う。

答 優先駐車場については、現在、銀行ATM脇に2台分を確保しているが、これを行政棟側に移動し、4台分の駐車スペースを確保することで検討を進めている。また、駐車場から役場玄関までの動線も含め、安全に利用していただけるよう十分に配慮していく。



利用者に配慮した屋根付きの優先駐車場の整備が必要

問 村長、原発事故は 起こらないとは

答 適合性審査が確認されたならば

問 村長が「論理的に考えれば福島と同じような事故はまず起こらない」と考える根拠は。

答 新規制基準が福島の事故の反省を踏まえたものであり、適合性審査が確認されたならばという観点。

問 「最悪の事態を想定するのは極論だ」とし、避難は段階的にすれば大丈夫と楽観視するが、その根拠は。

答 U P Z（30キロ圏内）の避難を指したものの、指示が住民に混乱がないよう適切かつ明確に伝えられれば、という前提があつてのもの。



みすずの会
あべ 功志 議員

問 「積年の課題が解決するまで原子力を使つてはならないと言うのは極論だ」とするが、積年の課題とは何か。

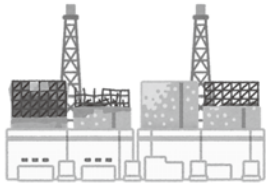
答 最終処分場や六カ所再処理工場の問題。

問 最終処分場が行き詰まっている問題を東海第二再稼働の要件に加えないのはなぜ。

答 世界レベルで見れば再処理技術は確立、と認識しているため。

問 原発推進の大元である核燃料サイクルは破綻しているが。

答 資源の有効利用、放射性廃棄物の減容化等の観点からその政策推進は必要と考える。



福島のような事故はもう起こらないと本当に言えるのか

問 災害は起こりえるとの 認識醸成

答 今後の災害に備えて整備を進める

問 避難所で住民の意見を聞き、住民のリスク意識の醸成が必要と感じた。次の災害に備えて住民の行動や避難の実施に対する住民の意見を確認すべきと思うが見解を伺う。

答 今後の災害に備えての整理・検証を進める。

問 住民の安心と自ら行動を判断をするために、4点の提案について見解を伺う。①避難行動要支援者等の居場所確認に、スマホアプリやICタグ等の活用で居場所が分かるシステムがあり、村も採用する。



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員

る。②災害状況の見える化は、久慈川、新川等の水位・画像を村HPへアップする。③防災士を各自主防災組織に配置し、訓練、講話を行う。④避難想定者を見越した避難所開設をする。



石神外宿地内堤防から榊橋を望む

答 ①実効性や有効性について、調査研究する。②国・県のHPの周知を図るとともに、村HPからのアクセス性改善を検討する。③県や防災士会へ相談し、自主防災組織への紹介等を進める。④状況把握等に一層の検討を加え、柔軟に開設する。

問 台風 19 号被害 自治体への応援は

答 70 人以上の職員派遣や物資提供



新政とうかい
ますい ふみ お
舛井 文夫 議員

問 台風19号により被災した自治体への応援の内容と避難所の開設状況を伺う。

答 常陸大宮市に対し、応急給水や罹災証明書発行、住家被害認定調査、保健師による被災者の健康管理に関する支援のため、延べ29人の職員の派遣を10月14日から22日まで行った。また、大子町や常陸太田市に対しては、災害廃棄物の仮置き場での案内・誘導のため、10月19日から11月10日まで、延べ44人の職員を派遣した。救済物資としては、水



大子町災害廃棄物仮置き場のようす
令和元年10月23日撮影

戸市や常陸大宮市に対し、本村が備蓄・調達した資材・食料・飲料水等を提供したほか、見舞金として、大子町・常陸大宮市・常陸太田市・ひたちなか市・水戸市の5自治体に計100万円を支出した。また、大子町のし尿・浄化槽汚泥を衛生センターで受け入れている。避難所の状況については、6つのコミセンと白方小学校において受け入れた避難者数が最大355人を数え、この中には、久慈川沿いの日立市民も含まれていた。

問 石神城址公園への 道路整備管理は

答 基本計画の中で道路整備も検討



むらかみ たかし
村上 孝 議員

問 石神城址公園が県指定になったことを考慮し、本格的なアクセス道路を整備すべき。

答 昨年度から石神城跡史跡整備基本計画を策定している。この中で日立東海線からの道路整備についても位置づけを検討する。

問 この公園が県指定になったことで、地域ボランティアは必要ないとの意見があり、管理の在り方をどのように捉えているのか。

答 地域の宝として守ってきた石神城を後世に伝えていくためには地域の方々が愛着を持つ

て関わってもらうことが必要のため、相談しながら検討していく。

問 久慈川の治水対策と管理対応は

答 直轄河川改修事業に着手している

問 先の台風や大雨で久慈川上流が決壊し、想像を絶する水害が本県でも発生した。今後大雨に対するコミュニケーションを行い検証するべき。

答 今年度、石神外宿や竹瓦地区では河道掘削を実施した。国の調査結果を踏まえ、要望活動をしていく。



台風19号通過後増水した久慈川のようす

問 交付金、1世帯当たりの差大きい

答 今後、十分調査・検討していく

問 自治会への交付金は、住み良い地域社会をつくるための活動を支え、欠かせない。自治会加入1世帯当たりの交付金額の最大額と最少額は。

答 最大額は原子力機構百塚区自治会で1万4,483円。最少額は内宿一区自治会で4,425円。その差は1万58円。

問 いくつかの要素で交付金額が決まるので、線引きは必要だが、かなりばらつきがある。加入率580%の自治会をどう捉えているか。

答 住民票は移してい



みすずの会
えり 恵利 議員



真崎自治会
年2回、真崎古墳の整備作業。8月末の行灯まつりには地区外からも大勢参加。とても幻想的なまつりです。

ないが、自治会に加入している世帯があるため580%になっている。

問 580%の詳細は、個人情報という事で調べられず。しかし、住民基本台帳によると、11/1現在で世帯数4で12人。住民登録4世帯の社宅を自治会と同等とみなすのか疑問。自治会加入世帯の定義づけは。

答 この交付金は自治会活動を支援するもの。住民登録の有無に関わらず、自治会に加入している世帯は交付金の算定対象である。

問 河川敷グラウンドの復旧計画は

答 早急に工事着工、完了を目指す

問 台風19号により、河川敷のグラウンドは完全に浸水し、被害を受けた。石神内宿サッカーグラウンド、石神外宿ソフトボール場の被害状況、利用者への影響と今後の復旧計画は。

答 サッカーグラウンドでは、ゴール4組が流出し、そのうち2組は破損、さらにグラウンド内に砂利が堆積し利用不可となった。ソフトボール場は、バックネット支柱が倒壊・折損、また、ネットへの瓦礫堆積に加え、内野面の土の流出も発生



新政とうかい
てらかど 寺門 さだのり 定範 議員



破損したソフトボール場バックネット

していることから、両グラウンドとも現状では利用が困難な状況である。例年の利用者は、11月から3月までの間に両施設合わせて約19,400人の多くの方が利用していることから、可能な限り早急な復旧工事の着工、完了を目指す。復旧費用については、サッカーグラウンドがゴールの購入と砂利の撤去工事に約200万円、ソフトボール場が復旧工事に約3,500万円を見込み、国の災害復旧補助金を活用する計画である。

問 自治会集会所に AED の設置を

答 コミュニティ助成制度を活用



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

問 AEDが身近にある環境にしたいと考え、平成25年と27年に学校や集会所、コンビニ等へのAEDの設置を求めた。教育委員会は平成28年4月に、村内全ての小中学校の外部正面入り口に、AEDを設置した。しかし、集会所とコンビニへの設置は、まだ進んでいない。集会所への設置を求める。

答 現在42か所の公共施設等に設置し、来年度は清掃センターや役場隣接の新保育所にも備え



AED設置で地域の安全・安心を

る予定である。一方、コンビニへの設置は、各本部やオーナーの理解が必須。村から貸し付けるとなると、店舗ごとにリース期間を設定する個別対応などの課題があることから、対策の検討も視野に、これまでの取り組みを引き続き進める。また、集会所へのAED設置は、管理者である自治会の負担が少なくなるよう、コミュニティ活動を推進する自治総合センターコミュニティ助成制度の活用を、自治会長連絡会議などで紹介し、AEDの設置に向け、普及啓発に努める。

問 地質情報は 住民へ公開すべき資産

答 国の動向を注視し慎重に公開検討

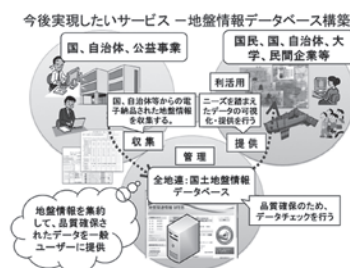


新政とうかい
たけべ しんいち 議員
武部 慎一

問 地質情報は、国民が共有すべき社会的資産・知的基盤情報である。各地方自治体でもオープン地質防災情報として公開され始めている。地質等情報から潜在的なリスクへの対応が見えてくるため、ハザードマップに重ね合わせると、新たな土地開発や都市計画の検討に活用が期待できる。また、個人住宅の建設時の土地情報として、希望する住民に、土地情報を公開し、潜在的なリスクを理解して

いただくよう情報公開を検討してはどうか。

答 土地情報については、現在公開している「東海村大規模盛土造成地マップ」によって、安全性や潜在的なリスクを判断するうえでのひとつの指標として活用していただけるものと認識している。しかしながら、震災マップの公表については、個人情報保護や先の震災において被災された方々への配慮等が必要ことから、国の動向を注視しながら慎重に検討していく。



地盤情報データベース構築の概要
(全国地質調査業協会連合会:地盤情報のオープンデータ化の提案平成30年3月)より抜粋)

問 作業員宿舍仮建設への 村の対応は

答 事業者は県の許可により建設



みすずの会
せいみや しょうじ 議員
清宮 寿子

問 当地を防潮堤工事の作業員宿舍として認めた理由は。また村内の宿泊施設を利用する指導はしたのか。

答 仮設建築物の許可権は県にある。村には相談がなかったことから、宿泊施設の指導はしていない。

問 村は「資材置き場」を目的とし、盛土事業を許可したが宿泊施設となった。建築目的変更の手続はされたか。

答 盛土事業の完了届が提出され、資材置き場事業は完了したので手続は不要。

問 完了届の完了日は



盛土事業中の現場

4月29日であるが、11月6日に撮影した標示板は事業期間が空白で事業続行中であった。村は現場確認を怠り、完了届をうのみにし、事業者の便宜を図ったとしか言いようがない。騒音・振動等がひどく自宅にいられないほどの周辺住民の苦情対応はしたのか。

答 苦情等が発生した場合は対応している。

問 苦情待ちは村の怠慢。村の責任で事故等の責任と補償について、事業者と周辺住民の協議の場を設け住民の不安に答えるべき。

答 県と情報共有を図りたい。

問 東海病院の委託料を 減額すべき

答 今後ともしっかり協議していく



新政とうかい
まさひろ ささじま 議員
笹嶋 士郎

問 地域医療振興協会に業務委託している村立東海病院の平成30年度会計決算を9月議会で報告を受けた。その中で、患者数が5.1%減少している。その理由を伺う。

答 患者数の減少については、内科医師の退職や耳鼻咽喉科医師の産休等、さまざまな要因が重なったことによるものと考えている。特に内科医師の退職による影響が大きいと考える。

問 患者数の減少が村の委託環境の不備によるものでなく、地域医



業務委託をしている東海病院



療振興協会内である内科医師の退職や耳鼻咽喉科医師の産休が大きな原因であれば、年間の委託料である運営交付金の減額の対象であるのに、満額支払っている。減額協議をすべきである。

答 指定管理者と例月の事務打ち合わせの中で報告を受け、病院の現状を把握するとともに、運営全般についても協議をしているが、今後は、運営交付金も含めてしっかり協議をしていく。

問 村の心が感じる 敬老祝品に

答 500 円の共通金券は見直す



おおな みえ子 議員

問 現在、75歳になると村からの祝品として、79の商工会加入商店等で使用可能な共通金券が届けられている。ある高齢者の方から、「500円の金券1枚が届いたが、自分では買い物に行けないので身内にあげた」との声が寄せられた。本来、「高齢者のためのもの」と、村の心が感じる祝品が望ましいのではないか。

答 500円の共通金券に関しては、正直評判が余り良くないと伺っている。高齢者の皆さんに喜んで貰える



最後の東海村敬老会

ように見直していきたい。

問 村は、敬老会廃止の際、「自治会などに村に代わって敬老会の実施をお願いしない」ということだった。現在、高齢を祝う機会は地域でどのように作られているのか、把握はしているのか。

答 名称や招待される年齢は違うものの、自治会単位でみると25自治会で開催。今年度はこれまで未開催の南台区にも村長が邪魔らせていただいた。

問 駅東口の駐輪場拡充の 必要性は

答 拡充する方向で検討を進める



新政とうかい
おち たつや 議員

問 駅周辺は、慢性的な駐輪場不足。特に日立側については、ロータリーの歩道にまで自転車放置されており、さらに、歩道の点字ブロックの上にも駐輪されている状況も見受けられる。現状の認識とその対策は。

答 村としては、歩行者や自転車が行き交う駅東口周辺の安全確保、ロータリーの歩道への駐輪抑制、及び駐輪場の利便性向上など環境改善を図りたいと考えており、駐輪場拡充のための基礎データ調査・検討を始めた



溢れた自転車が点字ブロックの上にも駐輪されている駅東口

ころ。シルバー人材センターへ委託している駅前駐輪場管理業務の中で、点字ブロック上の自転車を支障がないところへ移動するなど対処をしていく。来年度には駅東口の駐輪場整備方針を決定していきたい。

問 駅東口の点字ブロックは、周辺と同じベージュの同系色で目立たないことも、自転車が駐輪される要因のひとつ。何らかの対策を講じるべき。

答 点字ブロックの表面を黄色に塗装するなど、計画的に対策を実施していきたい。

問 村にとっての SDGs の理念は

答 SDGs は普遍的な理念である



みすずの会
えだ いづむ 議員
江田 五六

問 村長は、来年スタートの村の最高規範である、6次総合計画にSDGsの理念を盛り込む考えを示した。その真意は。

答 新総合計画は、これまでの総合計画のイメージにとらわれず、新たな視点で策定を進めており、SDGsの理念を盛り込むこともその一つ。

問 SDGsの理念は、9年前にスタートした村の5次総合計画の理念である「村民の叡智が生きるまちづくり」の中に全てが包括されていると思う。現在6次総合計画審議会では、理念及び計画に



達成目標である17項目は、地球上の人類が性別・年齢・宗教に関わらず努力しなければならない理念。従ってSDGsは、壮大な理想論であり、住民の生活の課題にはほど遠い。

について審議中。SDGsは、地球規模での温暖化や環境を守る観点を基に設定された行動指針であり素晴らしい理念である。しかし、村民の大事な生活課題とはかけ離れている。村長が先走り、理念を言うのはどうかと思う。

答 新計画は5次計画の否定ではなく、私自身、新たな理念を取り入れたいとの思いを持っており、その中でSDGsは村民にも共通する理念であると考える。

SDGsとは…「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標のこと。

3月定例会日程(予定)

期 日	時 間	内 容
3月 2日(月)	午前 10時～	開会
3月10日(火)	午前 10時～	代表質問
3月11日(水)	午前 10時～	代表質問
3月12日(木)	午後 1時～	一般質問
3月13日(金)	午前 10時～	一般質問
3月16日(月)	午前 9時～	予算決算委員会
3月17日(火)	午前 9時～	予算決算委員会
3月18日(水)	午前 9時～	予算決算委員会
3月23日(月)	午前 10時～	予算決算委員会
3月26日(木)	午前 10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

村内各コミュニティセンターと総合福祉センター「絆」にてライブ配信を行っています。



表紙写真の紹介



1月12日、消防出初式が東海文化センターで行われ、消防団や自主防災組織等が参加しました。幼年消防クラブの子ども達による演技や、消防団第4分団による消防操法が披露され、一同は地域の防火・防災への決意を新たにしました。



大変お世話になりました。

最後の定例会を終えた議員20人（任期:平成28年2月1日～令和2年1月31日）

イモソー
ファミリー
と学ぼう

議会の豆知識
No.14

「定例会」「臨時会」って何ですか？

今回は、本紙でもよく使われている「定例会」等についてお伝えします。

既読
13:20

なぜ「定例会」と呼ばれているの？



議会は、いつも開かれているわけではなく、定期的に開催する「定例会」、必要に応じて開催する「臨時会」があるんだよ。

既読
14:00

既読
14:10

「定例会」はどんな時期に開催するの？



東海村議会の定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開催することを条例で定めていて、会期はだいたい15日から25日程度のようなね。

既読
15:15

既読
16:15

じゃあ、「臨時会」はどんなときに開催するの？



定例会の間で特に議決が必要となる場合に開催するよ。去年は8/20に臨時会を開催して、役場敷地内に新しい保育所を建設するための関連予算を議決したようだ。今年は1月に議会議員選挙があるので、新しい議会メンバーでの役割決めなどのため、2月上旬に臨時会を開催する予定なんだって。

既読
17:00